

# サンガーデン便り

令和3年1月号

## <館内の見どころ>

館内では、シクラメン、シンビジュウム、ツバキ、白梅の花を觀賞できます。黄色く熟した甘夏柑がたくさんなっています。



## <1月の催し物 場所：1階展示実習室>

### ◎合格祈願の絵馬設置

1月6日(水)～2月28日(日)まで。合格の願いが成就するよう、樽前山神社へ後日奉納します。



## <1月の園芸作業>

室内の鉢花や観葉植物の茎葉がベタベタしないか、黒いスス症状がないか時々点検してみましょう。これらの症状があれば吸汁性害虫が発生している可能性があります。

**☆鉢花・鉢植え花木** 熱帯原産のシャコバサボテン、カランコエ、ゼラニウム、ベゴニア、ポインセチア、ハイビスカスなどは、暖かく日当たりの良い場所で育てます。暑さを嫌うシクラメン、プリムラ類は、日中でも15～20℃のやや涼しく日当たりの良い場所に置くとご機嫌で、長く花を楽しめます。シクラメン、プリムラ、ベゴニアなど次々と花を咲かせている鉢花は、液肥（1000倍液）を週1回程度与えますが、花の無い他の鉢花に肥料は必要ありません。

**☆観葉植物** 観葉植物にとって寒さが厳しくなりますが、最低温度7℃以上で管理します。かん水は夏場より控えめに、鉢の表土が乾いてから3日程度待ってから行うと良いでしょう。部屋が乾燥し気温が高い場合は、オンシツコナジラミ・カイガラムシ・アブラムシ等が発生し、虫の排泄物でベタついたり、黒くカビてスス症状を呈することがあります。濡れた雑巾やキッチンペーパーで葉の裏表を丁寧に拭き、成虫と卵を取ってあげましょう。また、適

苫小牧市サンガーデン

〒053-0011

苫小牧市末広町3丁目1番15号

☎0144-33-4411

宜霧吹きをしてあげましょう。クロトン、パキラ、シェフレラ（カポック）は窓越しの光に良く当て、株全体に光が当たるように、時々鉢を回してあげましょう。

**☆洋ラン** カトレアは最低温度15℃以上、コチヨウラン（ファレノプシス）は18℃以上で管理し、レースのカーテン越しの日光に、1日4～5時間当てるようにします。水やりは、最低温度が18℃以上あれば夏場と同様に乾いたらあげますが、最低温度が10℃前後の場合は2～3日待って与えます。蕾を持っている場合は、温度に関係なく乾いたらすぐ水やりします。シンビジュウムは最低温度7℃を保てる場所で、ガラス越しの光線に当てながら、鉢が乾いたらたっぷりかん水し蕾を育てます。

**☆外来種に注意** 北海道ではオオハンゴンソウの抜き取り駆除が行われていますが、新たにフランスギクとイワミツバ（斑入りを含む）を指定外来種に指定しました。これらの指定植物は花壇や花畑で適正に管理し、地下茎の伸長による栄養繁殖や種子の拡散による野外への逸出が生じないように留意し、根茎部や地下茎、これらの断片を含む培養土等を野外に捨てることは禁止され、場合によっては罰せられることがあります。

## <苫小牧の天気>

1月の太平洋側は、先月に引き続き寒気が流れ込みやすく、気温がかなり低くなる予報です。日照時間と降水量は平年並みの見込みです。

